

第1回 稲築中学校区小中一体型校施設整備協議会 会議録

1. 審議会等の名称 平成30年度 第1回稲築中学校区小中一体型校施設整備協議会
2. 開催日時 平成30年10月18日(木) 19:00~20:30
3. 開催場所 稲築公民館2階 講義室
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 非公開の理由(会議を非公開とした場合のみ)
6. 出席者
  - (1) 委員  
会 長 松熊満江  
副会長 永富靖人  
委 員 大力智司、山本真之、平岡真由美、橋本武彦、平井由子、荒川孝子  
松岡琢磨、井上剛、上野二郎、高津圭一
  - (2) 事務局  
学校教育課長 柴田きよみ、学校教育課参事 大森雅明、学校教育課長補佐 北富真治  
学校教育課長補佐 赤坂晋、教育企画係長 山本匡貴、教育企画係 中島貴祐  
教育企画係 山口陽子
7. 傍聴人数(会議を公開した場合のみ) 0人
8. 議題及び協議の内容
  - ・学校教育課長あいさつ
  - ・委嘱書交付
  - ・委員及び事務局職員自己紹介
  - ・協議会の目的

【議題】

- (1) 会長及び副会長選任
- (2) 諮問
- (3) 施設整備の経緯について
- (4) 協議会の協議内容について
- (5) その他

【協議の内容】

- (1) 会長及び副会長選任  
委員の互選のもと、会長が就任した。  
また、会長指名により、副会長が就任した。
- (2) 諮問  
○稲築中学校区小中一体型校施設整備協議会へ諮問を行った。(事務局)

(3) 施設整備の経緯について

○学校施設整備基本方針策定までの経緯について、資料2に沿って説明を行った。(事務局)

(4) 協議会の協議内容について

○協議内容について、資料3に沿って説明を行った。(事務局)

(5) その他

○小中施設一体型校舎の視察希望について、説明を行った。(事務局)

説明を受け、協議を行い、次のような質問や意見が出た。(委員)

○子どもの安全や保護者の送迎等を考えた施設にしてほしい。

→施設配置の議題時に検討していただく。(事務局)

○今後の給食方式はどうなっていくのか。

→「[参考3]嘉麻市小中一体型校施設整備基本方針」中で示しているとおおり、基本的には自校方式に移行していく予定。(事務局)

○学校プールは小中で水深が違うことから別々になるのか。嘉麻市には公設の温水プールがあるため温水プールを活用した方がより効率的ではないか。

→「[参考3]嘉麻市小中一体型校施設整備基本方針」中で示しているとおおり、プールを建設する場合は、小学校の水深を基本とした1つのプールを共有する。温水プールの活用については、今後の検討のひとつ。(事務局)

○基本計画・基本設計・実施設計はどのような違いなのか。協議会ではどこまで協議するのか。

→基本計画は、計画の段階で建設敷地や配置、ゾーン等を決めること。基本設計以降は、図面に各部屋等を細かく起こしていくこと。今回の協議会では、資料3の4つの事項について協議していただく。(事務局)

○小中一体型校の建設は決定事項なのか。

→施設整備方法として小中一体型校での整備に方向を転換した。(事務局)

○小学校保護者からの意見として、一体型校になった時に、中学生から小学生への影響があるのではないかと心配の声があがっている。

→事務局で一体型校の先進地視察を行い、影響等についても尋ねたが、中学生が優しくなる、面倒見が良くなるとの回答をいただいたところ。トラブル等も特にないとのこと。(事務局)

○小中一体型校とはどのようなイメージなのか。情報共有がしやすくなるものなのか。

→施設が一体となることで、小学校部分、中学校部分、共有部分とあるが、共有部分の中に職員室も検討しているため、教員同士が1つの部屋で日常的に情報の共有ができるようになると考えている。また、乗り入れ授業の実施により、交流も生まれて教育効果が高まると考えている。(事務局)

9. 配布資料

- (1) レジюме
- (2) 委員名簿
- (3) 諮問文の写し
- (4) 稲築中学校区小中一体型校施設整備協議会 資料
  - 【資料1】協議会の設置目的
  - 【資料2】嘉麻市小中一体型校施設整備計画の経緯
  - 【資料3】協議内容について
- (5) <参考1>嘉麻市学校施設整備について（答申）  
<参考2>嘉麻市学校施設整備基本計画（改訂版）  
<参考3>嘉麻市小中一体型校施設整備基本方針